



発行所 財団法人兵庫消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 関山 巧
定価 1部金44円
題字 井戸 知事

消さないで
あなたの心の
注意の火

第二一回兵庫県消防操法大会開催

平成十八年八月六日(日)に兵庫県立広域防災センターグラウンドにおいて、第二一回兵庫県消防操法大会が開催されました。

大会に出場したのは、県下九地区の代表チームで、小型ポンプの部十隊、ポンプ車の部八隊の合計十八チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。

当日は、見事な晴天に恵まれ多数の来賓のご臨席を賜り、盛大に開催されました。

開会式は入場行進の後、片岡大会副会長の開会の言葉、国旗掲揚、黙祷、第二〇回大会の優勝旗返還(ポンプ車の部、小型ポンプの部、共に神崎町消防団)が行われました。続いて、関山大会会長からあいさつのあと、井戸兵庫県知事から激励の言葉をいただき、来賓を代表して石原兵庫県議会副議長から祝辞を賜りました。その後、神戸市西消防団Bチーム石井宏紀選手の手強い選手宣誓の後、審査長である圓井消防学校長から競技上の諸注意があり、開会式は終了しました。競技までの準備の間



選手宣誓 (神戸市西消防団B)



大会風景

には神戸市消防音楽隊による素晴らしいドリルパレードが行われ、応援に駆けつけた方々を魅了していました。

見事に、ポンプ車の部に優勝した多可町消防団には東田兵庫県防災監より消防庁長官表彰の優勝旗が授与され、続いて小型ポンプの部に優勝した神河町消防団には関山大会会長より日本消防協会長表彰の優勝旗が授与されました。さらに、各部の優勝、準優勝、第三位に輝いたそれぞれの消防団には兵庫県知事表彰、兵庫県消防協会長表彰が授与された後、東田兵庫県防災監から出場隊の労をねぎらう言葉とともに講話があり、田中大会副会長の開会の言葉をもって大会は幕を閉じました。

なお、小型ポンプの部で優勝した神河町消防団は、平成十八年十月十九日(木)に兵庫県立広域防災センターで開催される第二〇回全国消防操法大会に兵庫県代表として出場されます。神河町消防団の、全国大会での健闘を心からお祈りします。

既にご案内のとおり、平成十八年五月三〇日付けで日本消防協会副会長に就任されました。関山会長の就任をお祝いし、今後のますますのご活躍を祈念するため、兵庫県消防協会副会長九名が発起人となり、県下の消防関係者が集い、平成十八年七月三〇日(日)に神戸ポートピアホテルで盛大に祝賀会が開催されました。



結果は次のとおりです。

小型ポンプの部
優勝 神河町消防団
準優勝 神戸市西消防団B
第三位 加東市消防団

ポンプ車の部
優勝 多可町消防団
準優勝 たつの市消防団
第三位 神河町消防団

祝賀会には、兵庫県から井戸敏三知事と齋藤富雄副知事、東



小型ポンプの部 優勝 神河町消防団



ポンプ車の部 優勝 多可町消防団

成績一覧表

	小型ポンプの部	ポンプ車の部
優勝	神河町消防団	多可町消防団
準優勝	神戸市西消防団B	たつの市消防団
第3位	加東市消防団	神河町消防団
第4位	稲美町消防団	南あわじ市消防団
第5位	南あわじ市消防団	加古川市消防団
第6位	宍粟市山崎消防団	丹波市消防団
第7位	養父市消防団	豊岡市豊岡消防団
第8位	篠山市消防団	宝塚市消防団
第9位	神戸市西消防団A	
第10位	三田市消防団	

関山巧氏 日本消防協会副会長 就任祝賀会開催

田雅俊防災監が、また、日本消防協会から山口常務理事がご臨席され、祝辞をいただきました。



阪神地区



ポンプ自動車の部
宝塚市消防団



小型ポンプの部
三田市消防団

神戸地区



神戸市西消防団櫛谷支団《神戸市代表》

東播磨地区



ポンプ自動車の部
加古川市消防団



小型ポンプの部
稲美町消防団

中播磨地区



小型ポンプの部・ポンプ自動車の部：神河町消防団

消防操法大会

各地区代表選手

西播磨地区



ポンプ自動車の部
たつの市消防団



小型ポンプの部
宍粟市山崎消防団

北播磨地区



小型ポンプの部
加東市消防団（岩屋分団）

ポンプ自動車の部
多可町消防団（八千代区中野間分団）



丹波地区



ポンプ自動車の部
丹波市消防団（春日支団第2分団第1部）



小型ポンプの部
篠山市消防団

但馬地区



ポンプ自動車の部
豊岡市豊岡消防団



小型ポンプの部
養父市消防団（八鹿第5分団）

淡路地区



ポンプ自動車の部
南あわじ市消防団



小型ポンプの部
南あわじ市消防団

美と力を備えた
新しいテクノロジーが
社会と暮らしを守り続けます。

安心を科学する モリタです。

株式会社 **モリタ**

本社 〒644-0003大阪生野区小鷺東5丁目5番20号
TEL06(6756)0119 FAX06(6756)3473
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山



『備えよ常に！』
『安全な街づくりを』
めざして

芦屋市消防団

松浦 信行 団長



冷静沈着な判断で、常に団員から信頼されている松浦信行団長をご紹介させていただきます

「われらが平澤団長」

新温泉町消防団

平澤 輝實 団長



兵庫県の最北西端に位置する新温泉町は、平成十七年十月に合併した風光明媚な自然と温泉を有する町です。
平澤団長は、昭和四十七年に旧

須磨浦ひろくの
急げ消ちゃん PART 36



とあります。昨年の十月に、第七代芦屋市消防団長に就任された松浦団長は、家業の造園土木のかたわら、昭和三十九年五月に芦屋市消防団に入団され、入団後は、数々の災害現場を経験されました。特に平成七年一月の阪神・淡路大震災においては、当時副団長として、自宅が半壊以上の被害を受けながらもJR芦屋駅付近の現場へ逸早く駆け付け陣頭指揮を執り、その被害を最小限にとどめると共に、職業柄、市内の復興にも尽力され、寝食を忘れ、公私共に芦屋市の

ために活躍されました。団長に就任されてからも、年末特別火災警戒、消防出初め式での表彰等、数多くの公務を積極的にこなされています。
そんな松浦団長のもうひとつの顔は、好々爺の車好きであることです。車での移動が多く、それも長距離を移動することが度々あることから、いつも一緒にいるのがトヨタクラウンのロイヤルサルーンです。いつもピカピカのそのクラウンも、もう五台目となっています。数々の災害現場や、ご家族との旅行や

わがまちの団長さん

(37)

浜坂町消防団に入団し、火災・災害現場で活躍され、平成九年に第五代消防団長として就任されました。団長のお父さんは初代消防団長でしたので、親子二代の消防団長です。そして昨年十月一日に温泉町と合併を行い、新温泉町消防団の初代団長に就任されました。

話し掛けられます。団長から先に挨拶や「ご苦労さん」と一声かけるのも魅力の一つで、みんなからとても慕われています。温厚でやさしい団長も、いざ火災や災害が発生すると現場では厳しく、頼もしい団長に変わります。的確な判断と迅速な指示を出し、団員の安全を確保しながら数々の被害を最小限に食い止めてきました。先の梅雨前線による大雨も、陣頭指揮をとって深夜まで警戒にあたられました。団長は新温泉町議会議員と、

仕事上の関係などで東奔西走するクラウンは、六台目・七台目と乗り継がれていくことと思います。それと、もうひとつのお楽しみは、お孫さんとの会話です。
今年には団長として二年目の年、芦屋市消防団としてますます消防団活動に頑張つてまいりますので、引き続き県下の皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

浜坂防犯協会の会長でもあり、地域住民の信望も厚く、普段から町の防災・防犯に力を入れ多忙な毎日をお過ごしておられます。人情味あふれる人柄とリーダーシップを持つ平澤団長に、七四六人の消防団員は一九となつてついでに行きます。

北から南から

魅力ある、美しいまち中央区

神戸市中央消防団

神戸市中央区は、神戸市の中央部に位置し、北は六甲の山々から南は神戸空港まで広がり、神戸の商業、業務、行政、文化の中核を担うとともに交通の要衝として発展してきました。面積は二八・三七㎞²(神戸市全体五五・七二㎞²)を有し、約六五、〇〇〇世帯、人口は約一一九、〇〇〇人(神戸市全体約一、五三〇、〇〇〇人)です。

区は北側に位置する六甲山系には古来より和歌に多く詠まれた布引の滝、布引ダム、布引ハーブ園、再度山、諏訪山公園などがあります。
布引の滝は、日光の華嚴の滝、紀州の那智の滝とともに三大神滝のひとつに数えられ、古くから神秘的な伝説があり、物語や詩歌に多く引用されてきた神戸の名瀑として知られています。布引の滝は雄滝、夫婦滝、鼓ヶ滝、雌滝の四つの滝の総称であります。雌滝の高さは四三m、滝壺の深さは六・六mで、水は六段に折

れながら滝つぼに落ちており、その段ごとに、水がえぐった穴が開いています。この穴を甌穴(おけつ)と言います。最大で三三・mもあり、ここには乙姫様が住む竜宮城があり、龍神となった乙姫が海へ出かけ、多くの船を守つたという言い伝えが残されています。また、源平盛衰記では、清盛の長子重盛が滝を見にきた際、家来の難波経俊が滝つぼに入り竜宮城を見て出たところを雷に打たれたなどの話があります。
さて、今年四月に開かれた国の文化審議会にて区の北部に位置する布引ダムを中心とした布引水源池水道施設を国の重要文化財に指定する答申を行いました。近代化遺産では神戸市内で初めての重要文化財(建造物)指定になります。布引ダムは水道専用ダムとして英国人ウィリアム・バルトンが基本設計を行ない、佐野藤次郎を始めとする日本人技術者により手掛けられ明治三年に完成しました。別名五本

松ダムとも呼ばれ日本最古のコンクリートダムでもあります。平成十三年から大震災などの災害に備え大規模な改修工事が行なわれ容量が四二万m³から六〇万m³に増えました。布引ダムは六甲山のハイキングコースが通じており、平成十七年には休憩所と野鳥観察所が新たに整備されました。

中央区は都心の機能を備えた区であるが、一方では海・山の自然にも恵まれています。海に目を向けるとウォーターフロント緑地として整備されたメリケンパークなど市民の憩いの場が数多く見られます。歴史を感じたり、様々な文化、自然に触れてみたいなど楽しむことが出来るのではないのでしょうか。魅力ある、美しいまち中央区に是非一度お越しください。



布引の滝 (雄滝)



布引ダム

姫路市飾磨消防団長
梶原 哲



私が入団した昭和四七年には、水素運搬車の水素が炎上し、多大な被害が発生する火災が、翌年は一年間に当市で過去最高の三九三件発生、また台風の影響で住家にも甚大な被害が出るなど、多種多様な被害が発生した時期でした。

場へ駆けつけ、活動したものでした。姫路市の消防団は従来一団制でしたが、昭和四四年に四団制となり、市内全域で四八分団・三、六一〇人の団員で構成していましたが、昭和五一年に消防団員数等の見直しを図るため「姫路市消防審議会」が設置され、三、六一〇人の団員が昭和六二年に二、九一六人に、分団は原則として一校区一分団制になり、今日まで継続していましたが、このたび平成十八年三月二七日に姫路市は、周辺四町と合併を行い、管轄面積は二七五.四から五三三.四に、団員数も八団一三六分団三、八三八人を有する姫路市消防団となりました。この合併に伴い、管轄面積が広大になりましたので、広域

消防団今昔



化に伴う応援体制の整備を行うとともに、今後更に複雑多様化する各種災害に備えて、消防団員の資質の向上を図るため、各種教育訓練等を積極的に推進し、地域防災の大きな原動力として、また信頼される防災リーダーの更なる育成を図り、磐石な組織の確立をめざし、一層の努力をしていきたいと思っています。

佐用町消防団

佐用町消防団は平成十八年四月一日より、旧佐用郡四町消防団が統合し結団しました。

現在、団員数一、一四〇名、団本部及び五五分団で組織され、三〇〇・五二一平方キロメートルの町域を管轄し、居住人口二二、五八四名の生命と財産を守っています。

平成十六年の台風災害の折には、旧上月町、旧佐用町が甚大な水害に見舞われました。打ち倒された山林の倒木は郡内いたる所に、今も尚その無惨な姿をとどめています。

当時、佐用郡内の消防団員も私事を投げ出して、現地へ赴き水防・救難活動に従事しました。

しかしながら、自然の猛威の中では、有効な手だてもなく、改めて、人類の無力さを痛感しました。

これらを教訓に、消防団員のみならず、これまで、比較的災害の少なかった当地域でも、住民の防災意識は一気に高まりをみせはじめています。

「自助、共助、公助」という意識が浸透し、まずは自分の身は自分で、一人で無理なときは家族、近所、集落と皆で力をあわせて災害に立ち向かうことが、大切だと多くの住民が感じています。

幸い新佐用町では消防団員が対人口比五%を超え、地元、自治会とも良好な協力関係にあります。四団統合後も旧町地域に



水防講習会実施中

支団長(副団長)を配し、それぞれの地理的特性に見合った、きめ細やかな組織運営を行っています。

佐用町消防団は、今後ますます高くなる住民の期待に応えるべく、日頃の防災訓練、消火訓練などを通じて、地域に根ざした消防団活動を展開していきま

地区通信

「ストップ・ザ・山火事」

宝塚市消防団

宝塚市消防本部、消防団では二月十五日から五月十四日までの三ヶ月間、平成十八年山火事予防運動を実施しました。

これは、全国的に実施されている同運動の期間に、前後をそれぞれ一ヶ月延長して、林野火災の徹底防止を図ったものです。

本市においては、ここ数年連続して、同時期に林野火災が多発しており、鎮火まで数日間を要する様な大規模なものも発生しています。

本市消防本部・消防団では、このことに鑑み、広く市民やハイカー等に山火事予防意識の啓発を図るとともに、市の公共施設、小・中学校教育機関等へ山

火事予防運動啓発ポスターを配布し、掲不広報を実施しました。周囲を林野に囲まれている市の北部地域を管轄する消防団においても、期間中多数訪れる市民及びハイカーに対して、啓発活動を実施するほか、例年この時期にあわせて林野踏査訓練を実施し、管内のハイキングコースを実際に歩き、入山口及び有効水利を確認するとともに、コース周辺の状況確認を行い、また、無線通信時の不感地帯等の実態把握に努め、火災が発生した場合、有効な防衛活動が出来るよう心掛けています。



今後、宝塚市のキャッチフレーズである「人と自然がふれあう、心豊かな美しいまち宝塚」の実現を目指し、山火事予防運動に取り組んでいきたいと考えています。

兵庫県消防協会
ホームページアドレス



「こんにちは!ひょうごの消防団です」
<http://www.hyogoshoubou.jp/>

編集後記

日中の暑さはまだまだ厳しい日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。外出時等の時は、十分に熱中症対策に気を付けたいですね。

今月号では、第二一回兵庫県消防操法大会開催及び各地区代表選手、関山会長祝賀会を掲載しております。また、消防団今昔には、姫路市飾磨消防団長梶原哲さん、丹波市消防団専任副団長足立進さんよりご寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。



土のうリレーだ



砂の入れすぎに注意